

庄原市立山内小学校 第2学年 図画工作科学習指導案

題材名：山内になんの「ようかい」

日時 平成30年11月15日(木) 2校時(9:45~10:30)  
 場所 2年教室  
 学年 第2学年(男子6名, 女子1名, 計7名)

題材について

本題材は、小学校学習指導要領図画工作(平成29年)第1学年及び第2学年の内容 A表現を受け、特に(1)「イ絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したことから、表したいことを見付けることや、好きな形を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えること。」に重点を置いて設定した。この事項は、発想や構想に関する事項のうち、絵や立体、工作に表す活動を通して育成する「思考力、判断力、表現力等」について示している。

本題材は、絵の具とパスを使って山内に来た「ようかい」を絵に表す活動を行う。偶然にできた形の面白さを生かして発想し、「ようかい」をかく。また、終末には、それぞれが楽しんでかいた「ようかい」を「山内の絵」に貼り合わせ一つの作品にすることで、自由な雰囲気の中で友人と対話し、「ようかい」の色や形についてそれぞれの表現のよさに気付くことができる題材でもある。

本題材は、偶然にできた形から発想するという活動と、その色や形から「ようかい」に見立てる活動を行うことで、正解のない絵を自由にかくことができる。よって本題材には、自信をもって絵に表す活動を行うことができるとともに、自分や友人の「ようかい」の面白さや楽しさを感じ取ったり考えたりして、形や色について自分の見方や感じ方を広げられる価値がある。

児童の実態について

事前の意識調査では、次のような実態が明らかとなった。調査項目は次の通りである。

(7人中)

質問項目	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
(1) 絵をかくときに、自分がかきたいものを思い付くことができる。	6人	1人	0人	0人
(2) 自分が思い付いたことを絵に表すことができる。	3人	2人	2人	0人

本学級の児童は、「何かをつくるのが好きだから」「いろいろな材料を使うのが楽しいから」ということから、図画工作科の学習に対して大変意欲的である。5月下旬に実施した「ねん土から生まれた『グアナコ』」では、自分が想像したグアナコを粘土で工夫して自由に表現できた。6月中旬に実施した「わっかでへんしん」においても、自分が変身したいものになるために画用紙の色や帽子や模様を工夫しながら活動をしている様子が見られた。

本意識調査では、絵をかく題材については、全員が「かきたい絵を思い付くことができる」と肯定的な回答をした。これまで発想を膨らませた経験として、「のびのびタイムスペシャル」では、「線を生かして」という活動を4回行ってきた。そのことである線をじっと見つめたり、見る視点を変えたりしながら、何かに見立てる活動に自信をもっている。しかし、2名の児童は、「表したい絵をかくことができない」と感じており、発想をした後に絵に表すことへ不安を感じていると考えられる。これまで7月上旬に行った「たのしかったよ ドキドキしたよ」においても、「絵をかくのは難しい。」「何かをつくる方がいい。」という声が上がっていた。

よって本児童は、題材に対してあるものを何かに見立てることはできているが、かきたいという思いがあっても、それをどのように表現すればよいのかが難しいと感じており、絵をかくことに自信がない児童もいるという実態である。

また、児童の作品を合わせて一つの作品をつくるという活動においては、1年生の時、「ねん土で無人島!」の題材を木や木の実を使ってみんなで島をつくっている。その楽しかったという経験から、個々の作品を合わせて一つの作品にする活動に意欲的に取り組むことができるだろうと考える。

## 指導にあたって

指導にあたって留意することは、大会テーマに沿って以下のように示す。

心動かし

「ようかい」は空想の存在である。したがって、正解がないため児童が自由に発想することができる。しかし、児童実態から「絵をかく」ことに対して、苦手意識をもっている児童がいる。そこで本時では、絵の土台となるものに、数種類の技法から偶然生まれた形を生かすようにさせる。そうすることで、楽しく自由な発想を生かした制作ができるのではないかと考える。

本時の導入では、興味・関心を高めるため、「ようかい」からの手紙を発見させる。手紙には、活動の内容やゴール、注意点（心得）が書かれてあるものにし、見通しをもてるようにする。具体的には、偶然にできた形をじっくり見た上で自分がかきたい「ようかい」を思い付き、山内に来てほしい「ようかい」をかくことである。

「のびのびタイム」においては、次の2つの活動を設定した。1つ目は、「ようかい」のイメージを広げさせるために、複数の「ようかい」を見付ける活動を仕組む。そして、「ようかい」が自分たちの教室だけに現れていることを知らせ、「ようかい」が児童にとって身近な存在であるように仕組む。その際、「ようかい」は身近なものを変身させたものにする。本時で「ようかい」をかくにあたって、児童に「ようかい」のイメージを固定させないためである。さらに本時では、偶然にできた形を「ようかい」に見立てることで、「ようかい」の概念を無くし、「どんなようかいでもいいんだ」という思いにさせる。そして、自信をもって「ようかい」を絵に表す活動を楽しく取り組ませたい。2つ目は、児童の意欲を高めるために、偶然性の伴う様々な技法を経験させておく。そこから何に見えてくるか、その色や形を生かした活動を行うことで、偶然にできた模様をいろいろな視点から見ると、面白いものに見えてくるという楽しさを味わわせたい。また、デカルコマニーを経験させる際には、「これからようかいのたねをつくるよ」と投げかけた上で活動に取り組ませる。つくった「ようかいのたね」は、本時まで「じっくり温めておこう」と声をかけ、後ろの掲示板に貼っておく。そうすることで、本時まで、偶然にできた形を見ながら「どんなようかいになりそうかな」「早くようかいをかきたい」という意欲をもてるようにする。そして、本時の導入では、つくった「ようかいのたね」から命が生まれるという設定をし、「のびのびタイム」の活動を生かして活動できるようにする。

対話し

本時では、「ようかい」をかく活動を通して「ようかい」に話しかける（題材との対話）。導入での手紙の中で、「ようかいのたねに話しかけながらかこう」という注意点（心得）を示し活動させることで、「ようかい」に対する思いをより一層深められると考える。

また、場の設定として、「山内の絵」を床に置いておく。そうすることで、配置する場所を動かしながら考えることができ、友人の「ようかい」との関係性が自然に生まれ、ストーリーを作りながら対話することができる。そして、友人や自分の作品のよさを認め合うため、本時の終末では、かいた「ようかい」を「山内の絵」（あらかじめ指導者が簡単な背景をかいたもの）に貼り合わせ、自由な雰囲気交流したり、感想を言い合ったりする対話の場を大切にす。

価値を知る

一人一人の作品を集めて貼り合わせた時、それぞれの「ようかい」のよさに気づき、認め合うことができる。そして、それぞれの「ようかい」の面白さや楽しさを感じ取ったり考えたりし、形や色における自分の見方や感じ方を広げさせたい。

また、偶然にできた形から発想することや、「ようかい」という正解のない絵をかくことによって、かきたいという思いに対して、自信をもって絵に表す活動を行うことができる。そこで、題材を通して自分の表現の幅を広げることができたという自信に気付かせたい。

## 題材の目標と評価規準

### <題材の目標>

- (ア) 偶然にできた形に対して興味をもち、創作活動に取り組むことができる。
- (イ) 偶然にできた形からどんな「ようかい」にしたいか考えることができる。
- (ウ) 偶然にできた形を「ようかい」に見立て、工夫しながら表すことができる。
- (エ) 自分や友人がかいた「ようかい」のよさに気づき、感想を交流することができる。

<評価規準>

ア 造形への関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
偶然にできた形に興味をもち、心を込めて丁寧に作品をつくろうとしている。	偶然にできた色や形を基に、自分がかきたい「ようかい」を思い付いている。	偶然にできた形を「ようかい」に見立て、工夫しながら表している。	自分や友人の「ようかい」のよさを感じ取ったり、考えたりして交流している。

指導と評価の計画

(全2時間)

次	学習内容(時数)	評 価				評価規準	評価方法
		関	発	技	鑑		
一	○ 偶然にできた形の面白さを生かして、山内に来てほしい「ようかい」をかく。(1時間)《本時1/2》	○	◎			ア 偶然にできた形に興味をもち、見立てて絵をかくことを楽しみながら作品をつくろうとしている。	行動観察 発言
						イ 偶然にできた形をじっくり見ることを通して自分がかきたい「ようかい」を思い付いている。	行動観察 発言
二	○ 「山内の絵」を完成させ、作品の交流をする。(1時間)			○	◎	ウ 偶然にできた形から見立てた「ようかい」に、切ったり、付け足したり、貼ったりして表している。	行動観察 作品
						エ 自分や友人の「ようかい」の面白さや楽しさを感じ取ったり考えたりし、形や色について自分の見方や感じ方を広げている。	行動観察 発言

本時の学習

(1) 本時の目標

偶然にできた形に興味をもち、自分がかきたい「ようかい」を思い付くことができる。

(2) 本時の評価規準

偶然にできた形をじっくり見ることを通して、自分がかきたい「ようかい」を思い付いている。

(発想や構想の能力)

偶然にできた形に興味をもち、見立てて絵をかくことを楽しみながら作品をつくろうとしている。

(造形への関心・意欲・態度)

(3) 準備物

手紙、「山内の絵」、画用紙、新聞紙、パス、はさみ、のり、毛糸、接着剤

(4) 本時の展開

学習活動	指導上の留意事項 発問 ◆: 支援が必要な児童への手立て	評価規準 〔評価方法〕
1 導入		
○ 「ようかい」からの手紙を見し、学習意欲を高めるとともに、「のびのびタイム」の活動を生かして活動することを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業開始前に、「のびのびタイム」でつくった「ようかいのたね」を材料スペースへ移動させておくとともに、「山内の絵」を教室の後ろのスペースに置いておく。</li> <li>朝、手紙が教師の机の上に置いてあったことを伝え、手紙の内容を読む。また、手紙の内容には、活動内容やゴール、注意点(心得)が書かれてあるものにし、見通しをもてるようにする。</li> </ul>	

	<p style="text-align: center;">2年生のみなさんへ</p> <p>わしは山内に住んでいるようかいじゃ。みんながつくった「ようかいのたね」は形や色がとってもおもしろい。今日はついに、その「ようかいのたね」からようかいが生まれるぞ。</p> <p>&lt;3つの心え&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「ようかいのたね」をじっくり見て、形や色のおもしろさを生かすこと。</li> <li>2. 「ようかいのたね」と話しながらかくこと。</li> <li>3. 心をこめて、ていねいにかくこと。</li> </ol> <p>みんながかいた、山内に来てほしい「ようかい」を見るのを楽しみにしているぞ。</p>	
<b>2 課題の設定</b>		
○ 本時の課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙をくれた「ようかい」も、「ようかいのたね」の形や色がおもしろいと言っていることを再度確認し、本時の課題へ導く。</li> </ul>	
<p>できた形や色のおもしろさを生かして、山内に来てほしい「ようかい」をかこう。</p>		
○ 授業の流れを確認する。	◆活動時間を設定し、見通しをもって活動させる。	
<b>3 活動</b>		
<p>○ 偶然にできた形や色の面白さを生かして、山内に来てほしい「ようかい」を楽しんでかく。</p> <p>○ それぞれがかいた「ようかい」を、「山内の絵」に置いたり動かしたりして貼る。</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black;">3つの心得を意識して、かいていきましょう。</p> <p>◆座席を円にすることと、円の中心に材料スペースを置くことで、周りの人の作品を鑑賞することができ、アイデアをもらったり生かしたりできるような場を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ようかい」への思いを高めさせるため、じっくり温めておいた「ようかいのたね」は、大事に運ぶよう気を付けさせる。</li> <li>・表現の幅を広げさせるために、児童の実態に合わせて糸と接着剤を提示する。</li> <li>・「のびのびタイム」で経験した偶然にできた形の作品も、材料スペースに準備しておくことで、児童がそれらも使って、切ったり、付け足したり、貼ったりして表現の幅を広げられるようにする。</li> <li>・もっとかきたいという意欲を大切にするために、早く完成した児童には、2つ目の作品をつくってもよいことを伝えるが、心を込めて丁寧にかくことを逃さないようにすることは抑えておく。</li> <li>・自分の「ようかい」に対する思いを大事にさせるため、かいた「ようかい」を貼った後、その思いに沿った背景を付け加えてもよいことを伝える。</li> <li>・配置する場所を動かしながら考えさせることで、友人の「ようかい」との関係性が自然発生させ、ストーリーが作れる雰囲気大切に作る。</li> </ul>	<p>偶然にできた形に興味をもち、見立てて絵をかくことを楽しみながら作品をつくらうとしている。〔行動観察・発言〕</p> <p>偶然にできた形をじっくり見ることを通して、自分がかきたい「ようかい」を思い付いている。〔行動観察・発言〕</p>
<b>4 振り返り</b>		
○ 自分がかいた「ようかい」を説明し、本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の表現のよさに気付かせるため、作品を「山内の絵」に貼り、自由な雰囲気ですらんと交流したり、感想を言い合ったりする鑑賞の場を設定する。</li> </ul>	

	・自分がかいた「ようかい」の説明を友人にさせることで、絵をかくことへの自信をもたせる。	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p><b>【児童の振り返りの例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくは「ようかいのたね」にパスで目と手をかいて、ようかいを表しました。</li> <li>・ひげが生えたようかいにしたかったから、毛糸を使いました。</li> <li>・「のびのびタイム」の時にかいた絵も使って、ようかいを表しました。</li> <li>・山に住んでいるようかいをかきたかったから、背景に山もかきました。</li> <li>・ぼくのようかいと〇〇くんのようかいが戦っているみたいに見えて面白いです。</li> <li>・はじめは、どんなようかいになるか迷っていたけど、絵を回して見たらこぶがあるようかいに見えたので、名前を〇〇にしました。</li> </ul> </div>		
<b>5 まとめ</b>		
○ 次時の課題を知る。	・次時は続きの「ようかい」をかいたり、背景にも付け加えたりして、「山内の絵」を完成させることを伝える。	

## 板書計画

山内になんの「ようかい」

学しゅうのながれ  
 ① かだい  
 ② かつどう  
 9:50~10:20  
 ③ ふりかえり

か 形や色のおもしろさを生かして、山内に来てほしい「ようかい」をかこう。

<3つの心え>  
 1. 「ようかいのたね」をじっくり見て、形や色のおもしろさを生かすこと。  
 2. 「ようかいのたね」と話しながらかくこと。  
 3. 心をこめて、ていねいにかくこと。

## 場の設定

